

第 1 1 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

平 成 3 0 年 1 0 月 1 2 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 11 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 議 録

招 集 年 月 日	平 成 3 0 年 1 0 月 1 2 日
招 集 場 所	知 多 市 役 所 2 階 教 育 委 員 会 室
開 会	午 前 9 時 3 2 分
閉 会	午 前 1 0 時 1 0 分
出 席 者	教 育 長 永 井 清 司 委 員 吹 原 美 香 山 田 直 行 加 古 三 津 代
出席した職員	教 育 部 長 岩 田 光 寿 生 涯 学 習 課 長 柴 山 利 之 生 涯 ス ポ ー ツ 課 長 堀 之 内 康 学 校 教 育 課 長 山 口 芳 徳 指 導 主 事 榊 内 勝 利 榊 原 督 事 務 局 学 校 教 育 課 森 真 哉 濱 野 和 江
傍 聴 者	な し
議 題	な し
そ の 他	(1) 平 成 3 1 年 教 育 委 員 会 会 議 開 催 ス ケ ジ ュ ー ル ( 案 ) に つ い て ( 報 告 ) (2) 平 成 3 0 年 度 全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 の 結 果 に つ い て ( 報 告 ) (3) 図 書 館 機 能 調 査 の 中 間 報 告 に つ い て ( 報 告 ) (4) 平 成 3 0 年 9 月 準 要 保 護 者 等 の 認 定 状 況 に つ い て ( 報 告 ) (5) 教 育 委 員 会 後 援 事 業 に つ い て ( 報 告 )

1 開 会 出席者 4 人

第 1 1 回知多市教育委員会定例会を開会する。

2 教育長職務代理人について  
教育長

日程 2 の「教育長職務代理人について」、私より報告させていただきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 3 条第 2 項におきまして、「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行う。」と定められております。教育長に事故がある場合などに、事務に支障をきたすことがないように、あらかじめ委員の中から職務代理人を指名することとしています。

この規定に基づきまして、平成 3 0 年 1 0 月 1 日付けで石井久子委員を教育長職務代理人に指名いたしましたので、ご報告いたします。

- 3 前回会議録の承認について 第 1 0 回定例会会議録は、委員全員の賛成により承認された。  
署名委員 石井委員、吹原委員  
第 1 1 回定例会会議録署名委員の指名  
吹原委員、山田委員

4 教育長報告

別紙教育長報告により説明した。なお、概略は次のとおりである。

(1) 中央図書館調べる学習コンクール審査会

イラストがあったり、自分で実験をしたりして、上手にまとめられていて、どの作品も力作でした。中学生の自由研究に勝るとも劣らない小学生の作品でした。

(2) ネーミングライツパートナー契約締結式

知多市民体育館の命名権を知多メディアネットワークと契約しました。1 0 月 1 日から知多市民体育館の愛称が「メディアス体育館ちた」になりました。しばらくは、「(知多市民体育館)」がその後に付くことになると思います。

(3) 文化講演会

書家の金沢泰子さんが、ダウン症の娘、翔子さんの子育てについての講演をしました。

(4) 子どもの体力向上実践事業講演会

至学館大学の上島助教の講演があり、各小学校の推進委員などが、子どもの体力向上実践についての話を聞きました。

(5) 第 2 回文化財保護委員会

北粕谷区所有の「熊野観心十界図及び那智参詣曼荼羅」の掛け軸 2 幅について、市文化財としての指定にかかる検討をしました。

(6) 尾張部都市教育長会議

不登校児童生徒への取組みではスクールソーシャルワーカーを導入しての保護者対応、暑さ対策ではエアコンの設置とは別に夏休み期間の変更など、議題に対する意見交換がありました。

来年度の全国学力・学習状況調査では、中学校において英語が加わるのですが、その中に、「話すこと」、すなわちスピーキングがあります。どのように行うのかという話がありました。

5 議 題 なし

## 6 そ の 他

### (1) 平成31年教育委員会会議開催スケジュール（案）について（報告）

（説明）山口学校教育課長

定例会は、原則として、第2金曜日とし、開催時間は、午前9時30分を予定しています。なお、第3回定例会は、人事内示等の関係により、3月5日を予定しています。また、6月、9月及び12月の定例会は、市議会の開催日程により、変更する場合があります。

（質疑・意見）なし

### (2) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について（報告）

（説明）榊原指導主事

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について、ご説明いたします。

今年度は、小学校・中学校ともに理科も実施しました。

「個人票の配付について」は、学校が個人票を配付する際に添付した保護者向けの案内です。

初めに、資料1をご覧ください。

小学校の概要ですが、やや努力を要する状態であります。しかし、過去3年間を比較しますと、全国平均・県平均に大きく近づいてきており、学力が伸びてきていると考えられます。特に国語の「知識」については、全国平均とほぼ同程度であり、県平均を上回っております。一方、算数や理科については、全国平均を下回っております。算数の「知識」については、多くの設問で無回答率が全国を上回っております。全国的に見ても昨年度よりも正答率が低いことから、難問が多かったことが考えられますが、粘り強く取り組む態度を更に育成していくことが大切であると考えます。また、理科の「活用」は、前回実施した平成27年度に比べて正答率が低く、全国平均との差も開いております。特に、「質量保存の法則に基づいて、物を水に溶かしても全体の重さは変わらない」ことに課題があることが分かりました。

資料2をご覧ください。

中学校の概要ですが、おおむね満足できる状態であります。過去3年間を比較しますと、おおむね伸びてきていると考えられます。特に理科においては、ほとんどの設問で全国平均の正答率と同程度か上回っております。中でも、「神経系の働き」についての理解が高いことが分かりました。また、数学は、過去3年間で比較しますと、正答率が高くなってきており、全国平均を上回っております。しかし、国語の「活用」については昨年度よりも大幅に低くなっており、全国平均を下回っております。特に、「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」ことに課題があることが分かりました。

資料3をご覧ください。

小学校の児童質問紙分析ですが、学校生活については、自尊感情が高いことや規範意識が高いことは、昨年度と大きく変わっていません。学習活動について、自分で考え、自分から取り組んでいる児童や、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする児童の割合が増えていることから、各校で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していることが分かります。基本的な生活習慣については、朝食をきちんと食べることや、同じ時刻に寝る・起きることができていることは変わっていません。例

年、課題になっていた、家庭で予習・復習をすることは、昨年度と比較すると大幅に増えてきております。しかし、全国平均をやや下回っていることから、今後も保護者と連携しながら、家庭学習を充実させるための方策を取っていきたいと考えております。

資料4をご覧ください。

中学校の生徒質問紙分析ですが、学校生活について、自尊感情が高いことや規範意識が高いことは、小学校と同様です。また、学習活動についても自分で考え、自分から取り組んでいる生徒や、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする生徒の割合が増えていることから、小学校と同様に、各校で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していることが分かります。更に、家庭で学校の宿題をきちんと取り組むことや、予習・復習をすることができている生徒が増えてきております。しかし、小学校と大きく異なることは、朝食の摂取率が昨年度より低くなっており、同じ時刻に寝る・起きることができている生徒の割合が若干低くなっていることです。今後も、基本的な生活習慣を付けさせるための指導を継続していく必要があると考えております。

資料5をご覧ください。

小学校の正答率経年変化ですが、これまで全国や県と大きくポイントを離されていましたが、この3年間で差を縮めてきております。特に、国語の知識では、県平均を上回っており、全国平均にもかなり近づいてきております。しかし、理科は、前回調査の平成27年度と比較すると、全国や県との差が開いております。見通しをもって実験や観察に取り組み、結果を基に分析して考察する指導を更に充実することが大切であると考えます。

資料6をご覧ください。

中学校の正答率経年変化ですが、こちらも改善が見られます。特に理科では、前回調査の平成27年度より全国平均・県平均ともに上回っております。また、数学は、県平均が非常に高いことから県平均よりは下回っているものの、全国平均を上回っております。しかし、国語の活用は、昨年度から大きくマイナスに変化しております。グラフや図表などが用いられている文章を読む際には、文章の構成や展開を適切に把握し、それぞれの図表などが文章のどの部分と関連しているのかを捉えられるように指導を工夫していくことが大切であると考えます。

最後に、資料7をご覧ください。

同一母体の正答率変化ですが、グラフの上が平成30年度、下が平成27年度で、これらをセットをご覧ください。27年度は小学6年生、30年度は中学3年生で、同じ母体になっております。国語の知識では、27年度はマイナス方向に大きく伸びておりますが、30年度は0に近づいております。他教科についても大幅に改善されております。平成29年度と平成26年度の変化を見ても同じことが言えます。このことから、中学生になって学力が伸びてきていることが分かります。課題はありますが、先生方が、現職教育研究などで子どもの課題を捉えて長年取り組んできた結果が表れていると思っております。今後も更に学力が伸びていくよう力を入れていきたいと考えております。

(質疑・意見)

加古委員

資料に、6年生の保護者の方と3年生の保護者の方への個人票の配付についてという文書がありますが、県の教育委員会から学校へはどのような手順で、配付なり、結果の通知をしていかれるのでしょうか。

榊原指導主事

個人票は、すでに学校に届いておりまして、それを配付する際に、市としてこの文書を

配付しておりますが、県から特に文書として配付しているものではありません。

加古委員

市から学校に配付するときには、個人票だけをまとめて渡すということですか。

榊原指導主事

個人票は、直接、先に学校に届いておりますが、この文書だけは、市教委から学校に出して、配付の依頼をしています。

加古委員

個人票の配付について、その手順を確認させていただきますが、個人票は、どこから学校に届くのですか。

榊原指導主事

個人票は、文部科学省から学校に直接届きます。結果は、CDとして届きますので、学校は、必要なものを印刷して配付します。そのときに、知多市としての結果の公表と対応を文書にしたものを添えて配付することを学校に依頼しています。

加古委員

市の教育委員会としては、どのような情報をどこからもらえるのですか。

榊原指導主事

市は、文部科学省から直接、知多市の結果として送られてくるので、それを基に分析しています。

加古委員

それは、学校毎に集計されているのですか。

榊原指導主事

学校毎の結果と知多市全体としての結果が送られてきますので、それを基に分析しています。

加古委員

詳細に分析されたと思うのですが、その結果をこれからの指導に生かしていただくようお願いします。

榊原指導主事

はい、ありがとうございます。

### (3) 図書館機能調査の中間報告について（報告）

(説明) 柴山生涯学習課長

図書館機能調査の中間報告について、説明させていただきます。

それでは、資料1の「図書館機能調査の中間報告について」をご覧ください。

まず、1の「市民意向調査」については、本年3月に策定した朝倉駅周辺整備基本構想に基づきまして、計画区域内に必要な公共公益的施設として設置が期待される新図書館のサービスや設備等の機能について、市民ニーズを把握するため、5月に市民アンケート及び利用者アンケートを実施いたしました。

(1)の市民アンケート調査は、16歳以上の2,000人へ調査票を送付し、900人の方からご回答をいただきました。また、(2)の利用者アンケートにつきましては、現在の図書館、まちづくりセンターの図書室の利用者に配布し、517人の方に協力をいただきました。

(3)調査結果につきましては、資料3ページの「【参考】市民意向調査のまとめ」をご

覧ください。図書館の利用状況におきましては、利用したことのある方が8割を超えておりまして、皆さんに多く利用されている施設であることが改めて分かりました。図書館の利用目的につきましては、年代によって多少の差異がありまして、10代は学習目的が多く、60代以上は気分転換やリフレッシュ目的にしている方が他の年代より多いことが分かりました。このような利用目的の差異が新図書館に求めるサービス等にも表れておりまして、学習目的で図書館を利用する方は、学習室や持ち込みパソコン等の電源設備などの学習環境の充実や、60代以上の利用者につきましては、友人と話すことのできるコミュニティスペースや交流スペースを求めていること、また、子育て世代の中心世代である30代につきましては、子どもと気兼ねなく話せられるスペースや授乳、おむつ替えスペースを求めていること、飲食の取り扱いやBGMの導入につきましては、「館内の一部で飲食ができる」とよい、「館内の一部でBGMを流すとよい」の設問がいずれの年代でも最も多くありまして、導入には、前向きな検討が必要であることが明らかになりました。なお、市民アンケート調査等の結果の詳細につきましては、「図書館利用等に関する市民アンケート調査等について」のとおりでございます。

次に、資料1の2ページ、2、図書館機能調査検討委員会について報告いたします。

図書館機能調査検討委員会につきましては、導入が期待される図書館の整備に関する基本計画を作成するにあたり、新たな図書館の機能等について、広く有識者等から意見を求めるため、学識経験者など10名から構成されております。第1回を6月22日に、第2回を7月20日に開催いたしまして、第2回では先進図書館の視察を行い、大府文化交流の杜図書館と安城市図書館を視察いたしました。

次に、資料1の3、図書館を考える市民ワークショップの開催状況について報告いたします。

市民が行きたくなる図書館について、市民の思いやアイデアを把握するため、参加市民を公募し、7月に2回実施いたしました。30名の方に応募いただきまして、2回に亘って、現在の図書館の課題をまとめる中から、閲覧、学習、飲食スペースなどの充実や子育て世代同士の交流スペースの設置、ICTを利用した便利なサービス・施設の機能の整備が参加者からご提案をされました。なお、ワークショップの詳細については、資料1の最後のページに添付してあります第1回と第2回の「図書館を考える市民ワークショップ開催結果概要」のとおりでございます。

今後につきましては、これらの市民意向を調査・分析したうえで、図書館機能調査検討委員会で、新図書館に求める機能について協議、検討したうえで、必要な機能等を取りまとめてまいります。スケジュールにつきましては、今年度3月に新たな図書館の基本計画案を作成し、4月以降、パブリックコメント等の手続きを進める予定でございます。

(質疑・意見)

加古委員

スケジュールとしては、3月までに基本計画案をまとめられるとのことですが、その計画案をまとめられるのは、図書館機能調査検討委員会ですか。別の組織のように聞こえたのですが。

柴山生涯学習課長

基本的には、図書館機能調査検討委員会につきましては、まず、図書館機能について整理をするための議論をしていただきまして、その意見をまとめたうえで、市で図書館の基本計画案を作成していくことを考えております。

加古委員

検討委員会やアンケートは終わられたので、後は市の中で会議を作って作成されるということですか。

柴山生涯学習課長

市民意向調査等について、改めて内容等を分析・調査をしまして、必要な機能のご意見などをいただきまして、これらを極力織り込んだ形での図書館の基本計画を市で作成していく流れでございます。

加古委員

このアンケート結果のまとめによく表れているように、年代によって図書館に求める機能というのも違うわけですが、自分も利用してみて、どちらも大事な機能だと思いますので、こういうアンケート結果をぜひ反映させていただく基本計画になりますよう期待しています。

#### (4) 平成30年9月準要保護者等の認定状況について（報告）

(説明) 山口学校教育課長

平成30年9月準要保護者等の認定状況について、ご報告いたします。

お手元の資料をご覧ください。

準要保護は、前回から今回までの認定は、小学校で34人、中学校で11人、取消は、小学校で13人、中学校で10人でした。現在の認定者数は、小学校で376人、中学校で186人、合計で562人です。

また、認定児童生徒の理由別内訳は、生活保護が停止または廃止されたものの理由で、認定が2人、児童扶養手当の支給を受けているものの理由で、認定が6人、取消が22人、保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められるものの理由で、認定が37人、取消が1人です。

要保護は、前回から今回までの認定は、小学校で3人、取消はありませんでした。現在の認定者数は、小学校で27人、中学校で18人、合計で45人です。

特別支援は、Ⅱ段階で、前回から今回までの決定は、中学校で3人、取消は、小学校で1人でした。現在の決定者数は、小学校で92人、中学校で32人、合計で124人です。また、Ⅲ段階は、前回から今回までの決定、取消ともありませんでした。現在の決定者数は、小学校11人、中学校0人、合計で11人です。

就学援助認定者数の前年度との比較は、9月末で、小中学校合わせて、要保護は、4人減の45人、準要保護は、1人増の562人です。

(質疑・意見) なし

#### (5) 教育委員会後援事業について（報告）

(説明) 山口学校教育課長

教育委員会後援事業について、ご報告いたします。

お手元の資料、知多市教育委員会 後援事業をご覧ください。

前回の定例会から今回までに、知多市教育委員会後援に関する取扱要綱第3条の規定に基づき、教育長の決定により、項番1の「第42回全知多バドミントン大会」から項番1

3の「2018年度第3回星城大学公開講演会」までの事業について、後援を承諾しましたので、ご報告いたします。

(質疑・意見) なし

## 7 自由討議

### (1) 学校訪問について

山田委員

佐布里小学校は、校門を入ったら、芝生の上に数個のおぼけかぼちゃが置いてありました。地元の農家からいただいたそうで、昔ながらに地域の支援ですかね、期待の大きい学校だと感じました。児童は、授業中、放課中とも穏やかでした。授業では、先生たちのよく通る声が、印象的でした。活力を感じました。全体に落ち着いた雰囲気でしたが、振り返ると、佐布里小は、梅を核にしていろいろな取り組みをしてきましたが、その取り組みには、地元の人、昔からの農家だけではなく、新しい住宅地の人たちも、たくさんの人に関わってきた学校であると承知しておったのですが、そうした取組、地域を巻き込む取組が校内の安定した雰囲気に貢献しているのだと感じました。これからも、学校には、大変な取組だとは思いますが、地域を巻き込んでそうした梅の活動を継続、発展させていただきたいと感じました。

### (2) 平成30年度全国高等学校総合体育大会 フェンシング競技大会の事業報告について 堀之内生涯スポーツ課長

平成30年度全国高等学校総合体育大会、フェンシング競技大会の事業報告をまとめましたので、本日、お配りさせていただきました。

大会につきましては、40度を超える地区もあったようですが、猛暑の中、関係者のご協力により、大きなトラブルもなく、5日間の日程を無事に終えることができました。選手・監督合わせて816名、観客延5,000名、役員・補助員合わせて606名という体制でございました。競技の結果及び写真を掲載してございますので、ご覧いただければと思います。

永井教育長

選手以外の高校生が、よく活躍してくれて、知多翔洋の生徒たちを中心に、地元の高校生がよく頑張ってくれた、いい大会だったなあと参加して思いました。

### (3) 11月の行事等予定表について

山口学校教育課長

11月の行事等予定表の事項を説明した。

8 閉 会 午前10時10分 第11回定例会を閉会  
次回は、11月9日(金)午前9時30分から第12回定例会を予定。

知多市教育委員会会議規則（昭和45年教委規則第2号）第14条の規定により、ここに署名押印する。

平成30年10月12日

(教育長) \_\_\_\_\_

(委員) \_\_\_\_\_

(委員) \_\_\_\_\_

(教育部長) \_\_\_\_\_